

『「くるめ」あふれる支え合いのまち「くるめ」の実現のために』
平成30年度 事業計画

市社会福祉協議会は、社会的孤立や生活困窮など、課題に対応し、地域で安心して暮らし続けるための切れ目のない支援や支え合いの仕組みづくりを、行政や地域団体等との協働により進めます。

重点取り組みの内容

地域福祉活動、小地域ネットワーク活動の推進

・各校区にコーディネーターを配置し、地域福祉活動の支援を積極的におこないます。

生活支援体制整備事業の推進

・コーディネーターを増員し、地域や関係機関等との一層の連携強化を図ります。

地域における

公益的な取り組みの推進

・地域における公益的な取り組みとして、「ふくおかライフレスキュー事業」に積極的に参画します。

・職員が、生計困難者等に寄り添って相談・支援活動をおこないます。

・市内の社会福祉法人と協力し、「ライフレスキュー久留米連絡会」を開催し、相互の連携強化を図ります。

生活支援・相談機能の充実

・ふれあい福祉相談員の対応力向上を図ります。
・生活福祉資金貸付事業の相談者等に対し、第二のセーフティネットとして必要な相談・助言をおこなうことにより、低所得世帯などへの自立促進を図ります。

成年後見事業の推進

・成年後見制度の一層の普及・啓発に努め、制度利用を促進します。

福祉教育の推進

・学校と校区社会福祉協議会、校区コミュニティ組織、ゲストティーチャー等が、相互理解を深め、協働しながら地域における福祉教育の推進を図られるように、交流を

促します。

・福祉教育セミナーなど学習機会の提供に努めます。

・「福祉教育プログラム集」を活用し、学校や地域における福祉教育の普及促進に努めます。

ボランティア活動の活性化

・個別ニーズや各種支援サービス等の情報収集及び発信に努めます。
・ボランティア募集やイベント等の情報紹介等におけるマッチング支援を強化します。

・生活課題や分野別のボランティア養成講座等を開催することにより、個人ボランティアや団体活動の活性化に取り組みます。

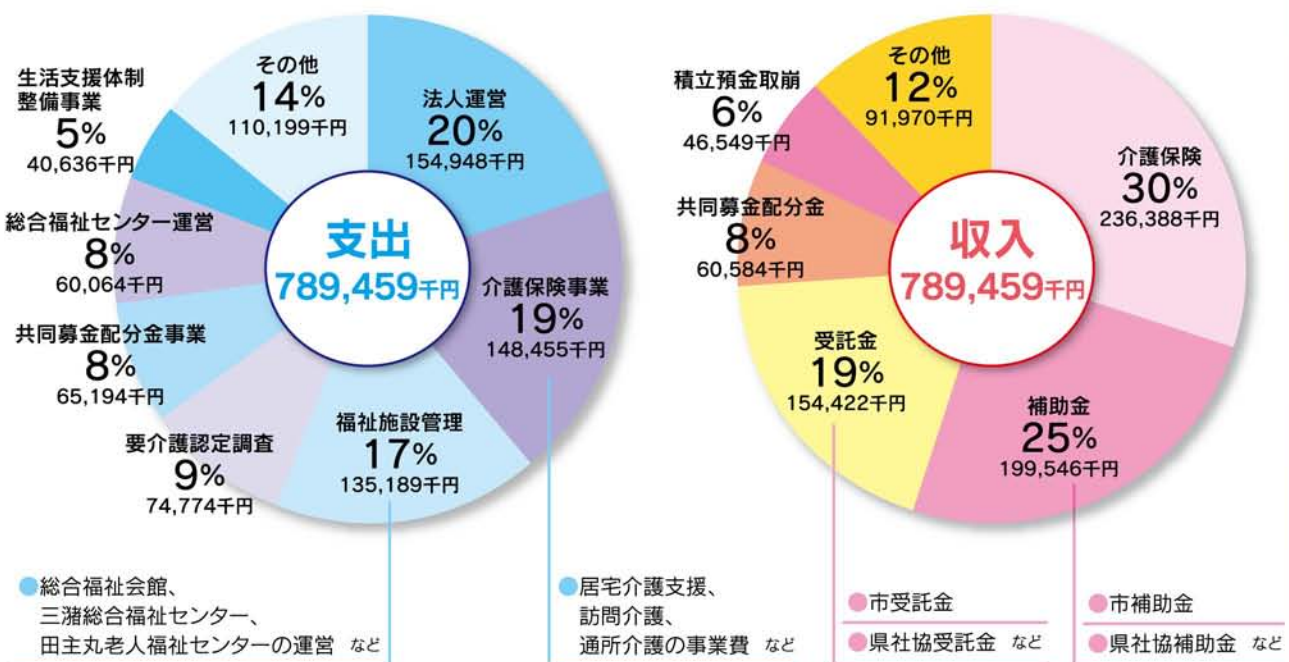
広報啓発機能の強化

・デザインやレイアウトの見直しに取り組み、読みやすい紙面づくりに努めます。

指定管理受託施設の運営

・福祉活動の拠点施設として円滑な運営に努めます。

平成30年度 資金収支予算



※詳しい事業計画や予算の内容は、市社会福祉協議会事務局及びホームページで閲覧できます。
ホームページ「久留米市社会福祉協議会」<http://www.heartful-volunteer.net>